

森中だより

厚木市立森の里中学校 1月1日現在
 1年生 59名
 2年生 65名
 3年生 65名
 全 校 189名
 発行責任者 平井 真澄
 TEL (046) 248-0727



HP <http://www.edu.city.atsugi.kanagawa.jp/morinosato-js/>

「未来を拓く力」

学校長 平井 真澄

2019年を迎え、8日には心新たに3学期の第1歩を踏み出すことができました。また、先日は梅のつぼみのふくらみを見つけました。まだまだ厳しい寒さが続きますが、開花を楽しみにしたいと思います。

さて、今年は新たな元号に変わる年です。去年の世相を反映する一文字は「災」でしたが、年明け早々にも各地で地震が発生するなど、これまでの無事がこれからの安全につながる現実には心が痛みます。学校においても、安心・安全な環境を第一に、一層充実した教育活動を展開していくことに努めてまいります。

始業式では、飛躍の春に向けた準備の大切さを伝え、各学年のキーワードを掲げました。1年生は「先輩」＝先輩らしさが身につく生活を。2年生は「お手本」＝最高学年に向かう自覚を。3年生は「受験・卒業」＝己を信じこの道を行く確かな気持ちを。人生の春は待っているだけでは来ません。地味な努力がその年の成長を決めます。自ら切り拓く力をしっかり蓄えられるよう、何事にも挑戦する意欲を持ち前進していくことを期待します。

生徒一人一人の挑戦する意欲を引き出すことは教育の原点と考えます。生徒たちの幸せの形は様々であり、各々が自己実現できるよう支え導き引き出すことが教育の本来の姿です。「苦しい挑戦こそ喜びも大きい」と、入試に立ち向かう3年生の姿には、過去の価値観にとらわれずに突き進む意欲と、自分で課題を設定しどう乗り越えるかを考える姿勢があり、何より人生の飛躍に欠かせない「未来を拓く力」を感じます。

社会の変化が加速していく中、しなやかに変化し対応していく力が求められる時代が始まります。「君はどう考える、どう判断する、どう挑戦していく」と問い続け、生徒たちが未来に希望を掲げ、果敢に挑む意欲を引き出す工夫と体制づくりに、職員一同、愛情と情熱をもって取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

○3学期始業式



校長先生の話



生徒代表の話



表彰の披露

いのちの学習 ～総合的な学習の時間～

1月16日(水)の学級活動の時間に1、2年生が「いのちの学習」を行いました。

1年生は『生命誕生(尊重)』で、DVDを鑑賞し、奇跡の存在の自分に気づくと共に、自他の命の大切さを話し合いました。また、2年生はロールプレイを通して『男女の対等な関係』について考え、自分や相手の心と体を守ることの大切さを理解し、自分の気持ちと相手の気持ちを尊重した適切な行動について学びました。



校内書き初め展

1月8日(火)、冬休みの課題であった「書き初め」を各教室に掲示し、1年の始めの抱負・意気込みを表明しました。

作品から一人ひとりの気持ちが伝わり、見ていると心新たにになります。

各クラスの金賞受賞作品は1月22日(火)まで生徒昇降口に展示しました。



中文連 美術科学習発表会

1月18日(金)～22日(火)まで、アミュあつぎ市民アートギャラリーにて厚木愛甲地区中学校文化連盟の美術科学習発表会がおこなわれました。森の里中学校からは、27名、27作品が出品されていました。

どの作品も発想力が豊かで、中学生の底力が伝わってくるような作品ばかりでした。



【1月の主な予定】

- 25日(金)～29(火)
 中文連 技術家庭科学習発表会・特別支援部会発表会
 28日(月)～ 3年生公立高校入試出願
 31日(月) 1年生職業講話

【2月の主な予定】

- 6日(水) 新入生保護者説明会
 9日(土)～ 私立高校一般入試
 12日(火) 専門委員会
 14日(木) 公立高校入試(筆記)
 15日(金) 公立高校入試
 (面接・特色検査等)
 18日(月) 公立高校入試
 (面接・特色検査等)
 21日(木) 学年末テスト
 22日(金) 学年末テスト
 25日(月) 3年生校外学習
 27日(水) 公立高校合格発表

森 中 歌 壇

- ・ 受験とは富士のように高い山 登頂したとき令格見える
- ・ 勉強に取り組みるときにふと思う 今頃皆も取り組んでいるなど
- ・ 郵送で湯島天神のお守りと 入試突破と書かれたハチマキ
- ・ 決戦日同近に迫る一ヶ月 高鳴る鼓動高まる不安
- ・ 休み時間遊んでる人減ってきて 教室の中雰囲気変わる

3年生 受験に向かう心

